

**特集**  
**1**

# 社会のさまざまな課題解決に向けて 「共創空間」から新しい価値を生み出す

組織や社会の抱える課題が複雑化する中で、多様なステークホルダーをオープンに受け入れ、対話を通じて解決しながら未来をめざす働き方が注目されています。オカムラが運営するセッションスペース「オープン・イノベーション・ビオトープ“Sea(シー)”」は、「共創」をキーワードに、課題解決と価値創造のためのさまざまな活動を育む場。これからの「はたらく」のヒントやアイデアを生み出す、数々の企画やイベントなどを行っています。



## 多様な人々がオープンに集う“Sea”は オカムラが運営する「対話」や「実行」の場

社会やビジネス環境がめまぐるしく変化し、企業や社会の構造そのものも、そこにおける働き方も変わってきている時代。課題はさらに複雑化し、特定のソリューションだけでは解決することが難しくなっています。

そうした背景から生まれた、これからの「はたらく」を描く新しい実践の場が“Sea”です。東京都千代田区紀尾井町のオカムラ ガーデンコートショールーム内に2015年5月に開設されました。この場では「働き方」や「イノベーション」をテーマにしたさまざまなプレゼンテーションやトークセッションなどを行い、課題解決に向けた議論や情報発信を展開。“Sea”から発生したプロジェクトも進展を見せています。

「オープン・イノベーション・ビオトープ“Sea”」という名前には、多様性のある生命の営みを育む豊かな海のイメージが込められています。多様なステークホルダーが、業種・性別・組織の枠にとらわれず、「共創」を通じて新たな「はたらく」のヒントを得ながら、明日の社会を見つめ、考え、行動へとつなげています。



“Sea”  
open  
innovation  
biotope

オープン・イノベーション・ビオトープ“Sea”  
<http://sea.okamura.jp/>



## “Sea”のコンセプト

“Sea”では、生物生息空間としてのビオトープをヒントに、以下の3つの要素を重視し、これらを空間とワークプロセスに反映させて活動を展開しています。



### INCLUSION : 受容

多様性あふれるさまざまな  
ステークホルダーを受容し  
オープンに対話する

単一の生物だけではビオトープは形成されません。また、ビオトープに息づく生命は生態系の中でそれぞれの役割を果たしています。多様な参加者が集まるだけではなく、一人ひとりの存在や意見がしっかりと尊重・受容される空間をめざします。



### CYCLE : 循環

課題発見・解決だけではなく  
成功・失敗を含めて  
蓄積しながら次に生かす

生命のライフサイクルが循環的につながることが、ビオトープをいっそう豊かなものにします。イベントの開催で一時的に人が集まる空間を提供するのではなく、課題解決に継続的に挑みながら成果を積極的に公開し、オープンに議論を深めていきます。



### ACTUARITY : 現在志向

現在視点から物事を捉え  
めざす未来を描きつつ  
変化のステップを設計する

ビオトープには、その場に息づく生命の、現在の営みがあります。未来のあるべき姿や夢を語り合うだけではなく、実現に結びつけることができるよう、現在の位置をしっかりと見極め、めざす未来に向けたステップを描くことを重視して活動します。

## 「はたらく」を共に考え、描くための オカムラの活動 —「WORK MILL」

オカムラは、個人や組織がこれからの「はたらく」を描くために、働き方や働く場をさまざまなステークホルダーと共に考える多面的な活動「WORK MILL(ワークミル)」を推進しています。“Sea”もこの一環として運営されているものです。

「WORK MILL」の「MILL」には、「見る」と「挽く(mill)」という意味が込められています。過去・現在・未来の多様な「はたらく」にまつわる情報や知見をさまざまな視点で見つめ、働き方や働く場の新しい価値を引き(挽き)出すのが、その目的です。

「WORK MILL」では、ウェブマガジンの配信やビジネス誌

の発刊とともに、多様な人材が集う共創空間の運営を行っています。現在は“Sea”のほか、「Future Work Studio“Sew(ソウ)”(東京都千代田区)、「Open Innovation Biotope“bee(ビー)”(大阪市)、「Open Innovation Biotope“Cue(キュー)”(名古屋市)を展開し、企業や組織がこれからの「はたらく」に必要とする、共創の場づくりや活動をサポートしています。

## WORK MILL

「WORK MILL」  
<http://workmill.jp/>



マーケティング本部  
ソリューション戦略部 未来企画室  
庵原 悠

### 他の誰かにつながる機会を提供しながら、多くの人に意味や価値のある場にしたい。

“Sea”を運営する中で私たちが特に重要と考えているテーマは、「働き方改革」と「オープンイノベーション」で、この2つを軸にしながら企業や社会の課題について議論しています。興味・関心のある人に積極的に参加してもらえるように、コミュニケーションと価値発信を大切にしながら活動を展開しています。

新しい働き方として、パラレルキャリアや副業などのテーマについても“Sea”の中で議論を進めています。現在、個人は一つの会社にだけ所属するのが一般的ですが、2016年に副業を「解禁」した大手企業もあるなど、パラレルキャリアの動きは今後ますます加速するでしょう。各分野のプロフェッショナルが専門性を生かして社会貢献する「プロボノ」といった動きにも注目しながら、未来の働き方について率先して取り上げていきたいと考えています。

「共創」の本質は、他の誰かにつながること。1人が10人とつながれば、2人いれば20人になるわけです。それぞれのパーソナリティが違うものであれば、本当に多様な「共創」が生まれます。固定化したリソースだけで問題を解決しようとするのではなく、つながりによって糸口を探すきっかけを、より多く提供していきたいですね。企業課題を「ジブンゴト化」して参加している人も増えていくと感じますし、今後も“Sea”をいろんな人にとって意味のある場に、具体的な価値創造と価値発信を行っていきたく思います。

## 活動事例

## まちの中の結びつきを高め、共創の場をつくる 「紀尾井町・番町・麴町 新しいまちプロジェクト」

“Sea”では、2016年1月に「はたらく」の議論を深める同時多発セッションを開催し、テーマの一つに「紀尾井町・番町・麴町 新しいまちプロジェクト」を取り上げました。地域の特性を生かしながら、市民と企業市民が一体となって都心の新しいまちづくりを考える機会を設け、議論したことから具体的な活動が動き出しています。

“Sea”の所在地である千代田区の紀尾井町や、番町、麴町は、オフィスワーカーや学生などさまざまな人が訪れ活動するまちで、昼夜間人口の差が非常に大きいという特徴があります。多様な人が集まるこの場所は、それだけ課題解決や価値の創造に向けたポテンシャルが高いかもしれません。また、企業や大学などとともに、歴史もまちのリソースになっていて、「番町文人通り」などのユニークな特色もあります。

そんな身近なまちについて、上智大学フューチャーセンターなどとともに考え、コミュニケーションの拠点となる共創



空間や大学が、これからどのような役割や可能性を持つのか検討を進めています。また、定期的なまち歩きなどによる情報の蓄積、セッションの開催、まちの文脈を生かしたプランニングなどに取り組み、地域における人々の結びつきや新たなまちづくりにつなげていく考えです。

なお、このプロジェクトは「千代田区まち歩き学習」事業として、千代田区との連携事業である「千代田学」の助成金の対象に採択されています。

## 「Seaインターンシッププログラム」によって 運営も「共創」し、学生の社会参加をサポート

多様性を高めながらアイデアを喚起していく「共創」の視点に立った取り組みの一環として、“Sea”ではインターンシップ・ジョブパートナー制度を導入。「Seaインターンシッププログラム」では学生の就労体験にとどまらず、イベントの運営補助からレポートの作成まで、実務に携わってもらっています。

学生が社会やビジネスの現場とつながる場を提供することで、「はたらく」ことへの理解を深め、自分の考えを持ち、成長する機会を提供。今後は学生向けイベントを企画してもらうなど、より深く社会にコミットする機会をつくりたいと考えています。



株式会社伊藤園  
常務執行役員 CSR推進部長  
笹谷 秀光 様

## キーワードは「CSR」と「CSV」。企業が本業で社会の課題に取り組む時代がやってきた。

持続可能な社会や環境を実現するためには、解決すべき多くの課題があります。これからの企業が進むべき道を探るとき、大切なキーワードは、「CSR」…企業の社会的責任と、「CSV(Creating Shared Value)」…共通価値の創造です。企業価値と社会価値を同時に実現するのがCSVです。日本に古くからある「自分よし、相手よし、世間よし」という「三方よし」の考えが、本業を通じて社会と価値を共有するCSVを端的に表しています。

しかしこの考えには「陰徳善事」、つまり良いことは黙っていても分かる人には分かるという心得もあります。でも、これではグローバル時代には通用しません。そこで私が提案しているのは、積極的に発信する「発信型三方よし」。企業が発信すれば仲間が増えてイノベーションが生まれます。CSRやCSVは、まず周囲の人に「いいね!」と思ってもらうことが出発点。そして「なるほど!」と思わせる説明の発信が重要です。これを大切にしていると、「またね!」と再度指名してもらい、その繰り返しによって「さすが!」と認めてもらえるでしょう。

オカムラの“Sea”は、そんなCSRやCSVの発信の場であり、「誰もが心地よくいられる空間をつくる」という本業の強みを遺憾なく発揮している共通価値の創造の場です。東京オリンピック・パラリンピックも控えて、今後のサステナビリティの世界共通言語として必須となる「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」の目標8に関連する「働きがいのある職場づくり」や目標9の「技術革新」などに寄与する共創の場として、世界的にも注目を集めると思います。こうした取り組みの輪が、これからさらに広がって全国の、そして世界のモデルとなることを期待しています。

# オープン・イノベーション・ビオトープ“Sea(シー)”

## 開催されたさまざまなイベント(2015-2016)

Sea : Seaが主催したもの

[2015]

5月25日  
SEA DAY 00

これからの「はたらく」と「はたらく場のありかた」について Sea

[2016]

1月29日  
SEA DAY 01

「組織内0→1(ゼロイチ)力」のススメ Sea

[A-1] ワーク・エンゲイジメント  
Eng@WA 第1回公開研究会

[A-2] 「はたらく」と「食」

[B-1] 紀尾井町・番町・麴町 新しいまちプロジェクト



[B-2] オープンイノベーションの場づくり

[C-1] 「美しく働く」

～働く女性が美しさとともに活躍するワークスタイルとは～

[C-2] ワークインライフ

～多様性の時代における、組織と個人のシステム&キャリア  
プランニング～

4月26日 空間創造のプロが自社のオフィスづくりにトライ Sea

～さらなる成長と提供価値向上を目指したワークスタイル変革～

4月28日 「食」から、働く人のライフスタイルを豊かにする Sea

～「食」を通じ、働き方改革を実現する～

5月16日 DESIGN for Innovation 2016

(主催: btrax,Inc.)

5月24日 新しい働き方「座り時々立ち仕事」の実情 Sea

～日本のオフィスに根付くのか?～

5月26日 働き方と組織の未来の「転換期」を創り出そう! Sea

～対話の場から見えてきた、組織と個人の関係を見つめ直すエッセンス～

5月30日 Eng@WA 第2回公開研究会

(主催: Eng@WA)

5月31日 デザインシンキング・ワークショップ

～ (主催: CeFIL)

6月16日 オフィス改革 = 働き方変革 Sea

～社員が使いこなすオフィスの作り方～

6月28日 協力し合うことで実現する働きやすい環境づくり Sea

～ママ支援活動の実践者たちとこれからの働き方を考える～

7月 6日 フューチャーセッション・ウィーク2016

「オフィスの未来～フューチャーセッション」

(主催: Sea/フューチャーセッションズ)

7月 9日 フューチャーセッション・ウィーク2016

「副業・パラレルキャリア～フューチャーセッション」  
(主催: ナレッジワーカーズインスティテュート)

7月19日 フリーアドレス Sea

～その本質と可能性について～

7月26日 ユーザーや企業とのオープンな共創をうながすIoTに迫る! Sea

～新規事業創出プログラムから生まれた成果とは?～

8月 4日 いま、グローバル化と日本企業の在り方を探る Sea

8月 9日 オフィスを無くすリモートワークから見えてきた「はたらく」 Sea

9月18日 グローバル eコマース リーダーズ フォーラム

(主催: btrax,Inc.)

9月20日 社員のモチベーションアップを目指したワークプレイスづくり Sea

9月23日 業務改革とワークスタイル変革 Sea

～企業に求められる二つの変革ベクトル～

10月 5日 Why Diversity 2

～変革リーダーは、何処から生まれるか～

(主催: チェンジウェーブ)

10月11日 あたらしい街、あたらしいオフィス、あたらしい働き方 Sea

10月12日 自分のキャリアを社会にいかそう!

～プロボノとサンカクの事例に学ぶ～

(主催: キャリア権推進ネットワーク)

12月 5日 「働き方変革」と「オープンイノベーション」の交差点 Sea

SEA DAY 02

[Day1-01] 実践からはじまる大企業のオープンイノベーション

[Day1-02] 人が集う場のデザイン

～“偶然の出会い”から得る気づき～

[Day1-03] オープンイノベーションを推進する仕組みとデザイン

～ヤフーのコワーキングスペース[LODGE]と共に

つくる未来～

12月 6日 「Day2-01」ひとりひとりの能力と可能性を挽き出す働き方

SEA DAY 02

[Day2-02] ワークインライフを実践していくために重要なこと

[Day2-03] 日本の「働き方改革」のいまとこれから



12月13日 未来企業共創プログラム 第1回「四方よしの経営モデル」

(主催: 企業間フューチャーセンター、大成建設、NEC、オカムラ・Sea

チーム)